

読  
2015.3.23

アカデミー受講生の修了  
作品を鑑賞する参加者ら



## 大谷石の作品発表会

アカデミー修了生

大谷石の加工技術を継承する人材を育てるための講座「大谷アカデミー」の修了生の発表会が22日、宇都宮市大谷町で開かれ、1年間の講座を終えた11人が、学んだことや目標などを語った。

約12年続けた運輸業を辞めて大谷石職人になるという内海貴司さん(34)は、「大谷町で生まれ育ち、大谷石に携わる仕事をしたかった。アカデミーを受講したことで夢をかなえることができた」。大谷石をテレビで見ることがきっかけで受講した栃木市の歯科助手、吉田綾子さん(45)は、「物づくりの楽しさや完成したときの達成感はひとしお。彫る

ことは趣味よりも、生きがいになりました」と話した。飯村淳事務局長は「若い人たちが技術を継承してくれることはうれしい。学んだことを今後の作品に生かしてほしい」と期待していた。

木

TOCHIGI